



E・N・S通信

No.10



埼玉県地球温暖化防止活動推進センター
Saitama Center for Climate Change Actions



Index

表紙寄稿：農林水産省 中田哲也氏
実施事業の報告
会員活動の報告
事務局からのお知らせ

霜里農場の無農薬・有機栽培いちご（埼玉県比企郡小川町）



大震災後とフード・マイレージ

農林水産省 中田 哲也

東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を祈念しています。

フード・マイレージとは、食料の輸送量に輸送距離を乗じた指標です。日本の輸入食料のフード・マイレージは諸外国と比べて突出して大きく、このことは、大量・長距離の食料輸送による二酸化炭素の排出が地球環境に負荷を与えていることを表しています。輸送に伴う環境負荷削減のためには、地産地消が有効な手段となります。

今、筆舌に尽くし難い惨禍を目の当たりにして、食料が生存のために不可欠な物資であることを痛感すると同時に、ある程度、手の届く範囲で食料を賄っていくことの重要性を、改めて思い知らされています。

突出した日本のフード・マイレージは、私たちが身の丈を超えた豊かで便利な食生活を送ってきたことの証左です。エネルギーの問題を含め、未来に向けて、少々不便でも慎ましかで持続可能な社会をどのように創り上げていくかが、今の私たちに与えられた課題です。「環境」はキーワードの一つです。さあ、何から始めましょうか。

注：フード・マイレージについて詳しくは以下をご覧ください。

「フード・マイレージ資料室」 <http://members3.jcom.home.ne.jp/foodmileage/fmtop.index.html>





実施事業の報告



BUY LOCAL キャンペーン ～新鮮・安心・地球温暖化防止～

地産地消は輸送に伴うエネルギーの削減となり温暖化防止につながることから、地球環境基金の助成を受け、“地場で旬!地産地消は温暖化防止”啓発のための基盤整備づくり事業を行いました。まずはワーキンググループを設置し、普及啓発ツールとして「BUY LOCAL」ロゴマーク、パンフレット及びポスターを作成しました。これらのツールを活用し、地元スー



与野フードセンターでのキャンペーン

パーの「(株)与野フードセンター」と地産地消販促運動「BUY LOCAL キャンペーン」を実施。全店舗内の地産地消農産物に口

ゴマークを表示、パンフレット配布やポスターも掲示し販促運動を行いました。

さらに、地産地消の地域ネットワーク構築に向

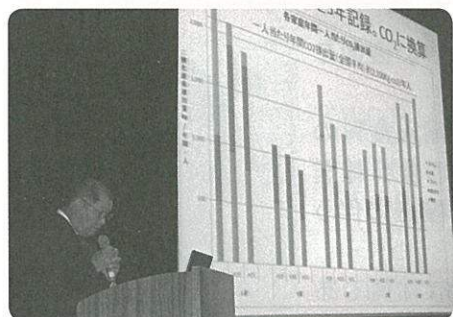


「食と環境フォーラム」パネルディスカッションの様子

け、2月27日(日)大宮ソニック市民ホールにて「食と環境フォーラム～おいしい!は世界をめぐる～」を開催しました。アジア太平洋資料センター理事の佐久間智子氏による基調講演の後、県内で地産地消運動を推進している生産者、加工者、流通業者、消費者によるパネルディスカッションを行い、県内のネットワークの構築を図りました。

低炭素まちづくりフォーラムin埼玉“冷やせ!彩の国”発表会の開催

10月31日(日)、大宮法科大学院大学にて、低炭素まちづくりフォーラムin埼玉“冷やせ!彩の国”発表会を実施しました。“冷やせ!彩の国”発表会は、地域の「主人公」である個人、市民活動団体、事業者・事業者団体、市町村等による地球温暖化防止活動の取組やアイデアを公募形式で募り、発表を行うもので、様々な主体の連携を強化することを目的として行われました。今年度は21件の取組・アイデアが寄せられ、9名の取組発表がありました。会場前の



取組発表の様子(彩の国発表会にて)

ロビーでは、地球温暖化防止ポスターコンテストの応募作品の展示も行いました。

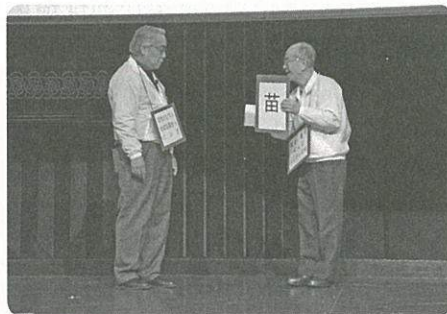
11月20日(土)には、“冷やせ!彩

の国”発表会の表彰式・結果報告として、各賞の表彰と埼玉県知事賞に選ばれた「環境まちづくり地域協議会inにいざ」の「緑のカーテンプロジェクト」の取組発表がありました。また、平成23年2月5日・6日、東京大学安田講堂にて開催された「ストッ

プ温暖化大賞 低炭素杯 ～低炭素地域づくり全国フォーラム」において、「環境まちづくり地域協議会inにいざ」が埼玉県代表として発表し、優秀賞を受けました。このフォーラムは、低炭素な社会の構築をめざし全国各地の地球温暖化防止活動を報告し連携の輪を広げることを目的として開催され、全国47団体による取組発表が行われました。



受賞団体(表彰式にて)



環境まちづくり地域協議会inにいざの発表(低炭素杯にて)



くらしのエコアドバイザーによる相談・助言

家庭から排出される温室効果ガスの削減対策として、市民に対し導入可能な対策の提示等の情報提供を行うため、「くらしのエコアドバイザー」を育成し、相談助言を行う事業を実施しました。3回の講座を受講した埼玉県地球温暖化防止活動推進員をくらしのエコアドバイザーとして登録し、10月～12月にかけて、県内15か所のイベント会場の相談コーナーで、約1000人の来場者に対しアドバイスを行いました。エコアドバイザーは、家族人数や家屋の形態、エネルギーの使用状況等を個別に聞き取り、来場者にパネルやパンフレット等を見せながら、暮らし

の省エネの工夫や省エネ機器の買い換えのポイント等を熱心に伝えました。



エコアドバイザー講習会の様子



イベント会場にて熱心に話をするエコアドバイザー

の省エネの工夫や省エネ機器の買い換えのポイント等を熱心に伝えました。



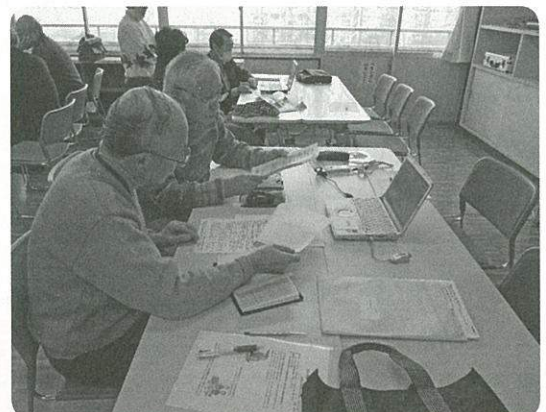
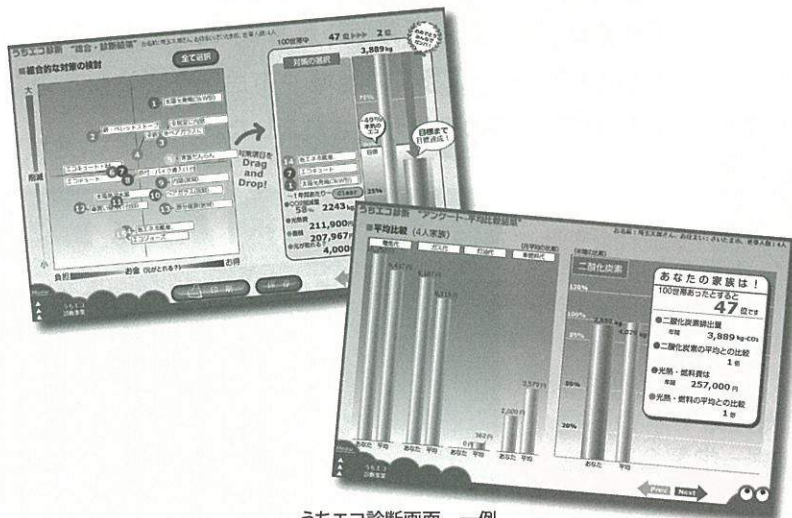
イベント会場の様子



彩の国うちエコ診断の実施

家庭から排出される温室効果ガスを見える化し、各家庭のライフスタイルに応じた二酸化炭素の削減対策を、必要な費用や節約される経費等とともに提案する「うちエコ診断」を実施しました。うちエコ診断は、全国の地域地球温暖化防止活動推進センターが専用のソフトを使い実施するもので、埼玉県センターでは「彩の国うちエコ診断」として実施しました。うちエコ診断は、センターにより認定されたうちエコ診断員が、希望する家庭へ直接訪問したり、事業所等にて集団で診断する方法で行いました。

診断では、各家庭のエコロジ一度の提示とともに、太陽光発電の導入、住宅のエコリフォーム、エコ家電の導入、日常のエコ活動など、導入可能な対策ごとに二酸化炭素削減量や光熱費の削減額、費用対効果等が具体的に提案されました。今年度は1月～3月の約3ヶ月間に、訪問診断11名、集団診断を5件33名の方に実施しました。受診家庭からは、「提案を実行するためには家族の協力が必要」「意識付けから行動へ、ライフスタイルの変革には大変有効だと思う」といった声が寄せられ大変好評でした。



うちエコ診断の様子(集団診断)



● 会員活動の報告

埼玉お日さまクラブ 太陽光市民共同発電所 2号機設置！ ～寺谷保育園(鴻巣市)にて点灯式を開催～

昨年度設置の1号機に続き、今年度は鴻巣市の寺谷保育園に太陽光市民共同発電所第2号機を設置しました。設置にあたっては、埼玉県内の市民や事業者、団体等より寄付を募り、139の個人・団体の皆さまからご支援いただくことができました。点灯式は、東日本大震災の影響により当初の予定を一週間延長し、3月19日(土)に行いました。寄付者・関係者等50名が集まり、お日さまのめぐみに感謝しました。



てらやっ子発電所(寺谷保育園)

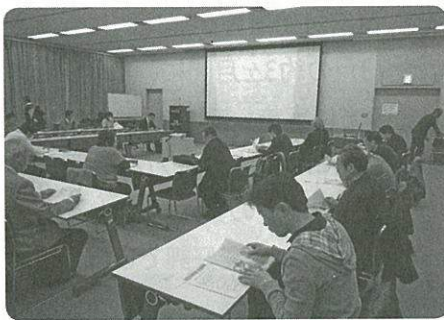
寄付募集中



寄付募集チラシ

埼玉お日さまクラブでは、次号機設置を目指し、幼稚園等の設置場所を募集しています。太陽光市民共同発電所を設置してみたいと思っている方、こんなところがいいのではと思われる方、是非ご連絡ください。また、引き続き寄付を募集していますので、ご協力をお願いします。詳細は、埼玉お日さまクラブ特設HP (<http://www.kannet-sai.org/ohisama/>) をご覧ください。

埼玉市民共同発電フォーラムを開催



フォーラムの様子 ちにパワーを！～

を開催しました。このフォーラムは、県内で市民共同発電所のネットワークを構築し、さらに活動を大きく広げていくための情報交換や交流の場として開催しました。太陽

1月22日(土)、大宮ソニック市民ホールにて、埼玉市民共同発電フォーラム～お日さまの恵みを電気に、そして私

光市民共同発電所に関心のある市民や関係者等約50名の参加がありました。NPO法人太陽光発電所ネットワーク事務局長 都筑建氏、山梨県中央市地球温暖化対策地域協議会会長 森野健治氏、与野ひなどり保育園園長丸山豊生氏等をお招きし、市民共同発電所の役割や県外の先進事例、設置者からの報告等をお話いただき、最後に全員で意見交換を行いました。参加者アンケートからは、「実際に設置した事例の紹介があり、イメージが湧いた」「PRを行い、もっと多くの地域や市民を巻き込んだ方がいいのでは」等の意見が出されました。

与野ひなどり保育園では、市民共同発電所を設置したことにより子どもたちが自ら発電量をチェックする等、環境学習に積極的に取り組んでいます。2月12日には、埼玉お日さまクラブメンバーが協力し、太陽光発電や水力発電のキットを使った自然エネルギー学習会を実施しました。





低炭素まちづくりフォーラムin埼玉～つながろう 広がろう エコの環～

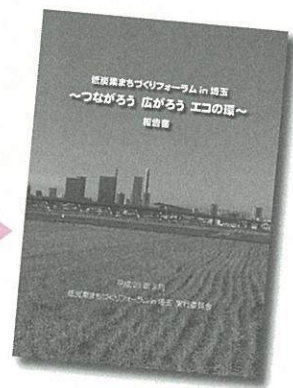
11月20日(土)13時より大宮ソニックシティにて、低炭素まちづくりフォーラムin埼玉～つながろう 広がろう エ



ワークショップの様子

コの環～が開催されました。このフォーラムは、埼玉県内の各地域の有志が集まり長年にわたり開催してきた「環境まち

づくりフォーラム・埼玉」と、埼玉県地球温暖化防止活動推進センターが開催してきた「ストップ温暖化フォーラム“冷やせ!彩の国”」とを統合したものです。地域の環境活動を紹介する展示会とともに、「くらしのエコ」「環境教育」「生物多様性」「太陽光発電」の4つのテーマに分かれて分科会が行われました。県内で環境活動に取り組んでいる約140名が集まり、低炭素な社会づくりの構築を目指した交流や情報交換の場となりました。



低炭素まちづくりフォーラムin埼玉の成果として、各分科会で議論された内容や提案、資料等を取りまとめた報告書を作成しました。地域での温暖化防止の活動にぜひご活用ください。ご希望の方は事務局まで(1部300円)。

団体正会員(企業)会員紹介

東京ガス株式会社 埼玉支店

◆会社概要◆

代表者：支店長 牧 毅

代表取締役社長 岡本 毅

所在地：埼玉県さいたま市南区別所7-1-1

設立：明治18(1885)年10月1日

事業内容：ガスの製造・供給および販売／ガス機器の製作・販売およびこれに関連する工事／ガス工事／エネルギーサービス／電力

《埼玉支店の取組み》

■学校教育支援

社員が小中学校を訪問し、環境やエネルギーをテーマとした出張授業を行っています。また、教職員・PTA・地域の方々(公民館等)



体験しよう!マイナス162度の不思議な世界

を対象に「エネルギー・環境教育研修会」等を開催しています。

■屋上緑化施設「うらわ四季彩ガーデン」



うらわ四季彩ガーデンでの自然観察や実験教室が人気

「平成20年度埼玉県みどりのモデル展示事業」として東京ガス浦和ビル屋上に「うらわ四季彩ガーデン」を開設。緑化技術の普及促進を

目的としたガーデニング教室や、ミニ社会科見学「キッズエコツアー」を開催しています。見学は随時で予約制です。

■「さいたまエコシアター」の開催

埼玉県・さいたま市やNPOと協働で「さいたまエコシアター」を開催しています。アース・ビジョン地球環境映像祭の入賞作品を中心に上映し、ロビーではこどもエコクラブやNPOなどの取組みを展示。環境を考えながら親子で楽しめる映画会です。



2011年度は8月6日(土)ソニックシティ小ホールの予定

■「エコ・クッキング」の推進



親子エコ・クッキング教室で省エネを実践

買い物から片付けまで、環境に配慮した調理を体験するエコ・クッキングは、東京ガスが全国に向けて普及促進を図っています。水やエネルギーを大切にし、ゴミの減量化にも役立つ「エコ・クッキング教室」は15周年を迎えました。



事務局からのお知らせ

平成23年度「NPO法人環境ネットワーク埼玉」 総会のお知らせ

日時：平成23年6月18日(土)

場所：大宮ソニック市民ホール401

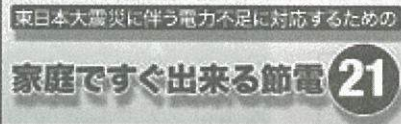
講演会も予定しています。講演会はどなたでもご参加できます。詳細は後日お知らせいたしますのでHP等をご確認ください。

中小事業者向け省エネ診断 勉強会

環境ネットワーク埼玉では、会員の自主活動として、中小事業者向け省エネ診断事業を検討しています。勉強会等の開催も予定していますので、詳細については事務局までお問い合わせください。

家庭ですぐ出来る節電21のご案内

全国地球温暖化防止活動推進センターでは、東日本大震災に伴う電力不足に対応するため、HPを通し、家庭ですぐに出来る節電の手法を提案しています。この提案は、当団体でも実施した平成22年度うちエコ診断事業の削減実績に基づく提案となっています。ぜひご活用ください。



★会員募集★

団体の活動を支援して下さる会員を募集しています!ぜひ私たちと一緒に活動しませんか?詳しくは事務局までお問い合わせください。

正会員(1口当たり)

会費種別	個人会員	団体会員(非営利)	団体会員(企業)
年会費	5,000円	5,000円	50,000円

賛助会員

会費種別	個人会員	団体会員(非営利)	団体会員(企業)
年会費	2,000円	2,000円	10,000円

スタッフからの一言



事務局長 秋元智子
年度末です。NPOにとって一年で一番忙しい時期になりました。気合を入れて今年もがんばるぞ〜!春は直ぐそこです。



穴見誠一
先日、吹奏楽の演奏会に出演しました。こういふときだからこそ音楽の力を感しました。前向きに頑張っていきたいと思います。



渋谷可奈子
最近運動不足です。肩こり解消も含めてもう少し暖かくなったらスポーツを始めようかと思います。



柳澤俊康
引き続き県の太陽光発電補助金受付業務を担当します。災害時等に利用できるということで設置を考える方が多いようです。



後藤正喜
埼玉県委託事業全般を担当しています。趣味でカクテル作りを始めた。美味しい物が作れるようになったらお試しください。



小森真紀
最近やつと冷蔵庫を買い換えました。壊れていないものを捨てるのには勇気がいりましたが、少しでも省エネになればと期待します!

■表紙の写真より■



埼玉県小川町の霜里農場では、1971年より有機農業に取り組んでいます。化学肥料・農薬等に依存せず、身近な資源(自然エネルギー)を生かし、食物だけでなくエネルギーも自給して自立する農法を目指しています。(霜里農場HPより)

編集・発行

発行日 2011年3月31日

埼玉県地球温暖化防止活動推進センター／特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉

埼玉県さいたま市南区別所1-1-16 東京電力(株)浦和営業センター2F

TEL:048-749-1217 FAX:048-749-1218 <http://www.kannet-sai.org/>

閉館日：土・日、祝日 開館時間：9時～17時

情報やお知らせ等、是非お寄せください。

